

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	保育所管理運営事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	O4	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	保育課				
施策	4-1	安心して子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり	主管課長	村山 智章				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	公立保育所（5か所）	意図	公立保育所の適切な運営及び施設を安全な状態に維持管理を行う。
事業内容	児童や保護者から喜ばれる保育環境の実現と、安心・安全な施設環境を整備する。			
事業開始から現在までの状況変化	保育士や看護師、調理員、用務員の適切な配置を進めるとともに、老朽化する施設に対して、安心安全を第一に施設の修繕整備が進んでいる。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	市内公立保育所の入所割合	14.70	12.20	11.60	%
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
 保育に対する需要は、毎年大きく増加していることから、待機児童解消に向けて私立保育所の整備を進めている。このため、公立保育所の入所割合は低下方向の目標方向としている。

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	290,730,482	321,841,785	338,488,787
事業費(b)(円)	287,811,482	314,270,285	331,009,287
うち一般財源	124,961,512	146,007,985	142,346,347
職員給与費(c)(円)	2,919,000	7,571,500	7,479,500
人役・職員(人)	0.30	1.00	1.00
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)	0.50	0.50	0.50
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	老朽化している施設の修繕を行い、保育環境を整える。	③取組における課題(Check)	施設の修繕も必要であるが、保育設備の充実も必要である。
②H30に実施した取組(Do)	老朽化している保育室の床や空調機などの早急に対応が必要な修繕を行った。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	施設の保育に必要な設備の充実を図る。